

「三重県の食に関する取組」と「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」 についてのアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
農産物安全・流通課	2021年11月24日から 2021年12月10日まで	1181	784	66%

今回は、健康推進課、農産物安全・流通課、議会事務局からのアンケートです。

はじめに、健康推進課からお聞きします。

県では、第4次三重県食育推進計画に基づき、地域において食に関わるさまざまな主体が連携しながら、食育推進に向けた各種の取組を行っています。皆さんの日々の食習慣と健康に関する意識を把握し、今後の取組に役立てるため、アンケートを実施します。

つぎに、農産物安全・流通課からお聞きします。

「三重県食の安全・安心の確保に関する条例」に基づき、県民の皆さんに安全で安心な食品が届けられるよう、食品関連事業者への立入検査や監視指導を行うほか、食品関連事業者が主体的に食の安全・安心に取り組めるような環境整備や取組の支援、県民の皆さんへの食の安全・安心に関する情報や学習機会の提供などを行っています。今後、これらの事業に役立てるために、アンケートを実施しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

さいごに、議会事務局からお聞きします。

三重県議会では、1年間の主な活動を振り返る「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」を12月末に発表します。

「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」の選定にあたり、県民の皆さんのご意見を参考にしたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

添付ファイル

- [あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10](#)

■ Q1 健康を意識した食生活の実践について

はじめに、健康推進課からお聞きします。

生活習慣病の予防や改善のために、あなたはふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	784	
いつも気をつけて実践している	98	12.5%
気をつけて実践している	400	51.0%
あまり気をつけて実践していない	255	32.5%
全く気をつけて実践していない	31	4.0%

■ Q2 バランスよく食べることについて

あなたは、主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）、副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせることが1日に2回以上あるのは週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	784	

ほとんど毎日	332	42.3%
週に4～5日	205	26.1%
週に2～3日	170	21.7%
ほとんどない	77	9.8%

■ Q3 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聞きします。

あなたは、家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※家族数は問いません。

※朝食および夕食の場合でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

合計	742	
ほとんど毎日	472	63.6%
週に8～10回程度	72	9.7%
週に5～7回程度	70	9.4%
週に3～4回程度	40	5.4%
週に1～2回程度	51	6.9%
ほとんどない	37	5.0%

■ Q4 栄養成分表示について

容器包装に入れられた加工食品には、エネルギーや栄養成分（たんぱく質、塩分など）の含有量が表示されていますが、あなたはふだん食品を購入する時に、栄養成分の表示を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	784	
いつもしている	107	13.6%
時々している	328	41.8%
あまりしない	243	31.0%
いつもしない	106	13.5%

■ Q5 新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化・影響について 1

新型コロナウイルス感染症の拡大前後で、あなたのふだんの食生活に変化や影響がありましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	784	
拡大前よりも健康的になった	60	7.7%
特に変わらない	666	84.9%

拡大前よりも不健康になった	58	7.4%
---------------	----	------

■ Q6 新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化・影響について 2

Q5で「拡大前よりも健康的になった」または「拡大前よりも不健康になった」を選んだ方にお聞きます。あなたにとって、食生活で変化のあった具体的な事柄は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	118	
1日3食をきちんと摂るようになった	18	15.3%
外食の機会が減った	60	50.8%
自分で料理をするようになった	26	22.0%
調理済み弁当や市販の総菜などを購入する機会が増えた	19	16.1%
間食が増えた	44	37.3%
その他	15	12.7%

■ Q7 食品の安全性について

ここからは、農産物安全・流通課からお聞きます。あなたは、食品の安全性について、ふだん不安を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	784	
不安は感じていない	120	15.3%
どちらかといえば不安は感じていない	318	40.6%
どちらかといえば不安を感じている	266	33.9%
不安を感じている	53	6.8%
わからない	27	3.4%

■ Q8 不安を感じる理由について

Q7で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」を選んだ方にお聞きます。あなたは、食品の安全性について、どのような不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	319	
農薬や動物用医薬品（抗生物質など）の残留	221	69.3%
食品添加物の使用	232	72.7%
アレルギー物質の含有	56	17.6%
遺伝子組み換え作物の使用	162	50.8%

放射性物質の含有	87	27.3%
輸入食品の安全性	262	82.1%
食中毒	58	18.2%
表示の偽装（消費期限、原産地など）	124	38.9%
その他	4	1.3%

■ Q9 食の安全に関する意識について

あなたは、ふだん食の安全についてどの程度意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	784	
買い物や食事の時など日常的に意識している	253	32.3%
日常的には意識していないが時々意識する	324	41.3%
食の安全に関する問題が起こったときには意識する	129	16.5%
ほとんど意識しない	76	9.7%
わからない	2	0.3%

■ Q10 食の安全・安心のために行政（国、県、市町）に期待する取組について

食品の安全・安心を得るために、あなたが行政に期待する取組はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	784	
食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する	495	63.1%
残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する	493	62.9%
食品表示の適正化を推進する	409	52.2%
生産者、事業者が食の安全・安心の確保に自主的に取り組めるしくみ（みえの安心食材表示制度など）を推進する	327	41.7%
トレーサビリティ制度（生産流通の履歴を追跡できるしくみ）を推進する	266	33.9%
食の安全・安心に関する情報収集と適正な情報をわかりやすく提供する	301	38.4%
講座、研修会など食の安全・安心に関する教育を推進する	61	7.8%

消費者、事業者などによる相互理解のための交流を推進する	73	9.3%
消費者や事業者の疑問等に対応できる相談体制を充実する	114	14.5%
その他	15	1.9%
期待する取組はない	16	2.0%
わからない	15	1.9%

■ Q11 食の安全・安心確保のための行政（国、県、市町）の取組について

あなたは、食の安全・安心確保のために、現在行政が取り組んでいる具体的な取組をどの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※Q10の選択肢に具体的な取組内容を掲げてあります。

合計	784	
取組の内容を知っている	10	1.3%
取り組んでいることは知っている	318	40.6%
知らない	456	58.2%

■ Q12 三重県のホームページ「食の安全・安心ひろば」について

三重県では、「食の安全・安心ひろば」というホームページにおいて、食の安全・安心に関する情報や県及び食品関連事業者の取組などを掲載しています。あなたは「食の安全・安心ひろば」に、どんな情報が掲載されていれば見てみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

（参考）食の安全・安心ひろば <https://www.pref.mie.lg.jp/shokua/hp/>

合計	784	
食に関する県内のニュースやイベントなどの最新情報	303	38.6%
ご家庭で注意したい食の安全に関する情報（食中毒の予防方法など）	364	46.4%
食品の安全性に関する情報（食品添加物、農薬等の正しい知識の紹介など）	413	52.7%
行政が行っている食の安全を守るための取組（監視指導や検査の実施状況、結果）	205	26.1%
食品関連事業者が実施している食の安全を確保する取組（農産物の生産者が行っている農薬の使用方法、スーパーなどが行っている食品の衛生管理方法など）	252	32.1%
その他	13	1.7%
わからない	67	8.5%

興味はない	66	8.4%
-------	----	------

■ Q13 食の安全・安心に関する情報を得る手段について

あなたは食の安全・安心に関する情報を知りたいと思った時、テレビ、ラジオ、新聞以外では、どのような方法で情報を得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	784	
雑誌（一般の週刊誌や月刊誌、専門雑誌など）、フリーペーパー	236	30.1%
行政機関が発行する広報誌、パンフレットなど	240	30.6%
スーパーマーケット等にあるチラシ、パンフレット	270	34.4%
ホームページやメールマガジン	326	41.6%
SNSなど（フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブなど）	237	30.2%
講演会、学習講座など	26	3.3%
生協など消費者団体等からの会員向け情報	83	10.6%
行政機関や事業者への電話での問い合わせ	13	1.7%
その他	29	3.7%

■ Q14 「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」について

ここからは、議会事務局からお聞きます。あなたが、今年の「三重県議会の活動ベスト10」としてふさわしいと考える取組を次の中から最大10項目まで選んでください。

- ※「その他」は、選択肢以外で、あなたがおすすめの取組がありましたら記入してください。
- ※各項目の概要は、添付ファイル（PDF形式）をご覧ください。
- ※昨年の結果は、三重県議会ホームページの「2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」選定結果をご覧ください。

https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/000125131_00005.htm

合計	784	
県議会新体制発足《3年目の議会活動をスタート》（5月）	72	9.2%
新型コロナウイルス感染症への対応《国に意見書提出、補正予算を先議など》（2月～）	458	58.4%
「令和3年版成果レポート」に関し申し入れ《全常任委員長から知事へ》（8月）	51	6.5%

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたメッセージ《正副議長から県民の皆さまへ》（9月）	251	32.0%
「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続《さまざまな差別の解消に向け、条例案素案の検討などを実施》（1月～）	176	22.4%
議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》（3月）	160	20.4%
「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」を設置《意欲的に県内調査などを実施》（5月）	183	23.3%
三重県で「紀伊半島三県議会交流会議」を開催《共通課題について国へ要望》（7月）	112	14.3%
政務活動費の減額《4.5%減額》（1月～6月）	305	38.9%
「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決《現在の定数51人から48人に》（5月）	222	28.3%
県議会議員桑名市・桑名郡選挙区補欠選挙（欠員1）の実施《51人目の県議会議員が誕生》（9月）	25	3.2%
「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施《大規模災害時のメールによる安否報告訓練》（2月）	311	39.7%
三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催《伊勢茶の魅力を発信》（3月）	112	14.3%
「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置《議会のスマート化に向け、検討を始める》（3月）	152	19.4%
全議員にタブレットを配付《タブレット勉強会を実施》（3月）	88	11.2%
「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置《三重県議会議員の政治倫理に関する検討を始める》（6月）	111	14.2%
「議員選出監査委員の在り方」及び「議長・副議長の在任期間」について議会改革推進会議で検討《各会派の意見をもとに検討中》（6月）	72	9.2%

新型コロナウイルス感染症等に対応するため 緊急会議を7回開催《補正予算を可決》（1 月～）	284	36.2%
その他	32	4.1%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture

2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」候補（概要）

三重県議会の活動ベスト10候補をリストアップしました。それぞれの内容は以下のとおりですので、皆さんの選定の参考にしてください。

～開かれた議会運営の実現～

5月

県議会新体制発足《3年目の議会活動をスタート》

5月18日に正副議長選挙を行い、第111代議長に青木謙順議員（自由民主党県議団、津市選出）、第115代副議長に稲垣昭義議員（新政みえ、四日市市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会、特別委員会および議会運営委員会の正副委員長や委員などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。

なお、6月30日に自由民主党県議団と自民党が解散し、7月1日に自由民主党を結成しました。


【会派構成（6会派）】（令和3年9月30日現在）


新政みえ 21人、自由民主党 20人、
草莽^{そうもう} 6人、公明党 2人、日本共産党 1人、
草の根運動いが 1人



議長選挙

～ 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

2月～	新型コロナウイルス感染症への対応 《国に意見書提出、補正予算を先議など》
<p>令和3年6月定例会議において、新型コロナウイルスへの対応に関する意見書を全会一致で可決し、議長から国関係機関等に提出しました。</p> <p>2月、6月、9月定例会議のほか、1月、5月、8月、9月には緊急会議を開催し、全員協議会において随時県当局の対策等を確認しながら、提出された新型コロナウイルス感染症に関する関連補正予算14件を迅速に審議・可決しました。</p> <p>なお、2月、6月、9月定例会議では、感染拡大防止に向けた取り組みを速やかに実行できるよう関連補正予算の先議を行いました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">新型コロナウイルスに関する 補正予算可決</p>	

8月	「令和3年版成果レポート」に関し申し入れ《全常任委員長から知事へ》
<p>8月2日、予算決算常任委員長および各行政部門別常任委員長から知事に対し、「令和3年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等について申し入れを行いました。</p> <p>「成果レポート」とは、前年度の県政の取り組みを評価する中で明らかになった成果と課題、翌年度の改善方向などを取りまとめた年次報告書のことです。</p> <p>《申し入れの主な内容》</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応について 新型コロナウイルス感染症対策のさらなる強化を実施するとともに、これまで各部局で実施された新型コロナウイルス感染症対策の総括にも取り組むこと。</p> <p>財政運営について 経常的な支出の抑制、多様な歳入確保策の推進を図るなど、今後も引き続き財政健全化の取り組みを行うとともに、緊急な対策が必要となる状況に対して、的確かつ迅速に対応していける財政運営に取り組むこと。</p>	
	
<p style="text-align: center;">知事への申し入れ</p>	

9月

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたメッセージ
《正副議長から県民の皆さまへ》


9月13日、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた正副議長から県民の皆さまへのメッセージを三重県議会ホームページや三重県議会Facebookで配信しました。


このメッセージでは、新規感染者数は減少傾向にあるものの、医療提供体制は厳しい状況にあるため、不要不急の外出自粛など感染防止対策の徹底をお願いするとともに、偏見や差別につながる行為、人権侵害、誹謗中傷等を行わないよう呼びかけました。



メッセージの配信

～ 独自の政策提言と政策立案の強化～

1月～	<p>「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続 《さまざまな差別の解消に向け、条例案素案の検討などを実施》</p>
<p>さまざまな差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査・検討を行うため、令和2年5月に「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置しました。</p> <p>令和2年に実施した調査や参考人招致を踏まえ、本年は10月までに16回会議を開催し、差別解消に向けた課題等に係る各委員の意見の整理、差別解消に向けた条例の在り方の方向性等に係る委員間討議、条例案素案の検討等を実施しました。</p> <p>引き続き、条例案の策定に向けて取り組んでいきます。</p>	
	
<p>委員間討議</p>	

3月	<p>議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決 《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》</p>
<p>三重県産材の利用を促進していくための条例の制定に向けて調査および検討を行うため、令和2年1月に「三重県産材利用促進に関する条例検討会」を設置しました。</p> <p>木材利用に関わる関係者からの聴き取りや県内調査などを踏まえて検討を進め、本年3月に条例案を提出し、同月に「三重の木づかい条例」が可決・成立しました。</p> <p>条例では、県産材の利用を最も優先することを掲げ、木材利用の推進に関して、基本理念や関係主体の責務、県の取り組みなどについて定めています。</p>	
	
<p>本会議において議案説明</p>	

5月

「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」を設置
《意欲的に県内調査などを実施》

アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向けて、5月に「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」を設置しました。

10月までに4回会議を開催し、県の関係部局からの花や木に関する県の取り組みについての聴き取りや4人の参考人招致を行ったほか、県内調査を実施し、市民の方々と協働した花に関する取り組み等について調査しました。

引き続き、条例案の策定に向けて取り組んでいきます。



県内調査

～ 分権時代を切り開く交流・連携の推進～

7月	三重県で「紀伊半島三県議会交流会議」を開催 《共通課題について国へ要望》
<p>7月21日、三重県多気郡大台町において、三重県、奈良県、和歌山県の三県議会による「第15回紀伊半島三県議会交流会議」を開催しました。</p> <p>会議では、「ワーケーションの推進」と「紀伊半島アンカールートの整備促進による国土強靱化及び地方創生の推進」、「公共事業における木材の活用」について意見交換が行われ、制度の拡充や必要となる財源の確保等について三県が連携し、国に対して要望していくことが合意されました。</p> <p>会議の後に取りまとめた三県議会議長の連名による要望書は、8月に国に提出しました。</p>	



紀伊半島三県議会交流会議

～ 議員報酬、政務活動費及び選挙など～

1月～6月	政務活動費の減額《45%減額》
<p>新型コロナウイルス感染症対策の推進に資するため、政務活動費を減額しました。</p> <p>その内容は、令和元年5月から令和5年4月までの間、既に30%減額しているところに加えて、令和2年7月から令和3年6月までの間、更に15%減額を上乗せし、計45%減額するものです。</p> <p>この政務活動費の減額は、令和2年6月30日、議員提出議案として本会議に提出し、同日可決しました。</p>	

5月	<p>「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決 《現在の定数51人から48人に》</p>
<p>令和2年10月に提出された「選挙区及び定数に関する在り方調査会」の報告書を踏まえ、地域間の均衡を考慮しつつ、県内の各選挙区間における一票の格差の是正等を図るため、本年4月に議員提出議案として「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案」を提出し、5月11日、可決しました。</p> <p>改正内容については次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定数を51人から48人とする ○伊勢市選挙区と鳥羽市選挙区を合区し、伊勢市・鳥羽市選挙区とする(定数4人) ○尾鷲市・北牟婁郡選挙区と熊野市・南牟婁郡選挙区を合区し、東紀州選挙区とする(定数3人) ○伊賀市選挙区の定数を3人から2人とする <p>なお、この条例は、次の一般選挙から施行することとしています。</p>	
<p>出典：みえ県議会新聞 令和3年度(2021年度)NO.1 制作：伊勢新聞社</p>	

9月

県議会議員桑名市・桑名郡選挙区補欠選挙（欠員1）の実施
《51人目の県議会議員が誕生》

桑名市・桑名郡選挙区補欠選挙（欠員1）が実施されました。その結果、倉本崇弘議員が51人目の県議会議員として誕生し、会派は草莽そうもうに所属することとなりました。



新議員の初登庁

～ その他 ～

2月	「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施 《大規模災害時のメールによる安否報告訓練》
<p>2月12日、大規模地震対応マニュアルに基づき、災害発生時に議員や事務局職員がとるべき行動、役割等を確認することを目的に「大規模地震対応訓練」を実施しました。</p> <p>訓練は、本会議休会中に三重県南東沖を震源とする南海トラフ地震（三重県内最大震度7）が発生したという想定のもと、議員から議会事務局へメールにより安否を報告する訓練を行うとともに、マニュアルに基づき、地震発生から72時間経過後最初に到来する午後1時という想定で災害対策会議の開催訓練を行いました。</p> <p>議会独自で行う災害訓練としては令和2年1月の訓練に続き2回目の取り組みでした。</p>	



メールによる安否報告訓練

3月	三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催 《伊勢茶の魅力発信》
<p>3月5日、伊勢茶の振興に寄与するため、三重県議会議事堂1階エントランスホールにおいて、議会と三重県茶業会議所が共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催しました。</p> <p>おいしい伊勢茶の淹れ方を学ぶとともに、飯南高校美術部の生徒によるお茶ラテのラテアートの実演を通じて新たな伊勢茶の楽しみ方を知るなど、伊勢茶の魅力を確認しました。</p> <p>なお、県の緊急警戒宣言発令中でもあり、検温や消毒など、新型コロナウイルス感染症に関する感染防止対策を徹底した上での開催となりました。</p>	



高校生によるお茶ラテアートの実演

3月	<p>「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置 《議会のスマート化に向け、検討を始める》</p>
<p>3月31日、議会のスマート化について検討するため、議会改革推進会議役員会において「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>10月までに6回会議を開催し、「三重県議会貸与タブレット型端末機使用基準」をはじめとしたタブレットの運用について検討を行ったほか、実際にWeb形式で会議を開催して課題を検証するなど、議会のスマート化に向けて検討を行っています。</p>	



Web会議

3月	<p>全議員にタブレットを配付《タブレット勉強会を実施》</p>
<p>3月23日、議会のスマート化に資するため全議員にタブレット端末を配付しました。</p> <p>なお、7月13日には、全ての議員がタブレットを活用できるよう「議会改革推進会議」が主催となり、議員向けに操作説明会を実施しました。</p>	



タブレット操作説明会

6月	<p>「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置 《三重県議会議員の政治倫理に関する検討を始める》</p>
<p>6月28日、三重県議会議員の政治倫理に関する検討を行うため、議会改革推進会議役員会において「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>10月までに3回会議を開催し、議員による SNS 上での書込みに関する代表者会議での議論の経緯や他県議会の状況等を共有し、三重県議会議員の政治倫理に関する条例の運用に向けての検討を行っています。</p>	
<div data-bbox="948 304 1461 631" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1023 669 1374 748" data-label="Caption"> <p>三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議</p> </div>	

6月	<p>「議員選出監査委員の在り方」及び「議長・副議長の在任期間」について 議会改革推進会議で検討《各会派の意見をもとに検討中》</p>
<p>議会改革推進会議では、「議員選出監査委員の在り方」および「議長・副議長の在任期間」について検討しています。</p> <p>「議員選出監査委員の在り方」については、現在監査委員4名のうち、議員選出監査委員2名を選任していますが、地方自治法で議員選出監査委員を置かないことができることから、今後の在り方について各会派の意見をもとに検討することになりました。</p> <p>また、「議長・副議長の在任期間」については、近年、申し合わせ事項と実際の運用に齟齬が生じているため、改めて、これまでの在任期間検討の経緯等を確認するとともに、各会派の意見を集約し、検討を行うこととしました。</p>	
<div data-bbox="963 1075 1461 1370" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1050 1406 1350 1438" data-label="Caption"> <p>議会改革推進会議役員会</p> </div>	

1月～	新型コロナウイルス感染症等に対応するため緊急会議を7回開催 《補正予算を可決》
<p>新型コロナウイルス感染症等に対応するため、1月29日から9月22日にかけて緊急会議を7回開催しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応では、医療提供体制の整備や事業者への時短要請等に伴う協力金等に関する補正予算(累計約430億円)を審議・可決しました。</p> <p>また、5月の第2回緊急会議では、豚熱の防疫措置等に関する補正予算(約7億円)を審議・可決するとともに、8月の第5回緊急会議では、三重県知事選挙等の実施に関する補正予算(約9億円)を審議・可決しました。</p>	



第7回緊急会議